

街歩きガイドブックの散策ルートマップにみる東京のイメージ構造

奥山研究室 07_07604 金森 麻紀 (KANAMORI, Maki)

1. 序 現代社会において人々の抱く都市に対するイメージは、実体験だけでなく様々なメディアによっても形成されている。そうしたものの一つに街歩きガイドブック¹⁾を挙げることができる。そこでは解説文や写真、地図などにより街を紹介することで、特定のテーマにそった空間体験が提示されている。特に散策ルートが描かれた地図(以下、散策ルートマップ)には、その街の広がりや他の街とのつながりを読み取ることができる。そこで、本研究では街歩きガイドブックに掲載された散策ルートマップを資料とし、そのルート形状とネットワークを検討することから、東京における場所の広がりとそのネットワークに関するイメージの一端を明らかにすることを目的とする。

2. 駅セットの抽出と性格

2-1. 散策ルートを構成する単位ルート 図1のように資料とした散策ルートマップは、散策の始点となる駅、終点となる駅、またそれらをつなぐルートの近傍にある通過点駅²⁾によって示されている。そこで、通過点駅で分節した単位ルート³⁾を抽出し、その形状を整理した(図2)。

2-2. 単位ルートの組合せからみた駅セット 資料において、同じ駅の組合せをもつ単位ルートがみられたことから、その登場回数により、駅セットと弱駅セットとを定義し、

抽出した(図3)。また、単位ルートの形状の組合せから駅セットの空間的な広がりや位置づけた(表1)。

3. 駅セットのネットワーク

3-1. 駅セットのネットワークと形状 前章で捉えた駅セットには、それらが連結することで、ネットワークを形成しているものがみられた。そこで、駅セット同士の関係を検討することから、32の駅セットのネットワークを抽出し、その形状を整理した(表2)。

3-2. 駅ポリマーと駅モノマー 次に、駅セットのネットワークにおいて、弱駅セットによるつながりの有無を検討することから、弱駅セットによって連結された2つの大きなまとまり(以下、駅ポリマー)を見出した(図4)。一方で、他の駅セットとのネットワークを形成せず、単一の駅のみで成立する駅セット(以下、駅モノマー)も見出せた。

4. 駅セットのネットワークと地理的特徴の関係 前章までに捉えた駅セットのネットワークの分布を、東京の実際の地理的特徴と合わせて検討する(図5)。

4-1. 駅セットのネットワークの分布 まず、2つの駅ポリマーは山手線内を南北に二分するように分布していることがわかる。また、その北部には池袋を含むもの(No.25)

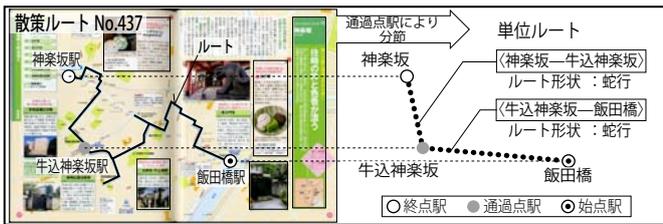


図1 散策ルートマップの具体例と単位ルートの抽出

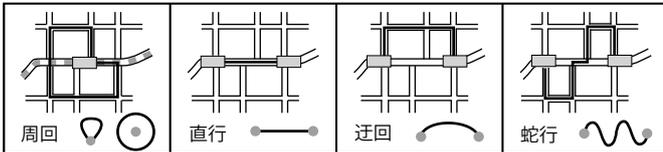


図2 散策ルートを構成する単位ルートの形状

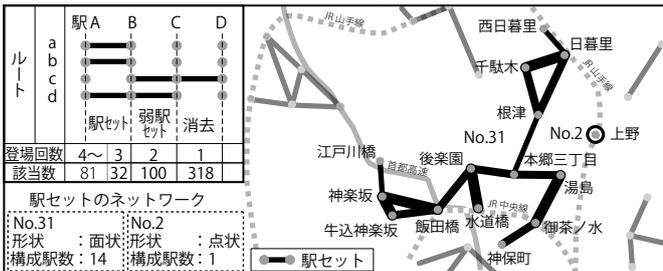


図3 分析例

表1 駅セットの広がり

なし	片側	両側
14	48(5)	51(2)

表1註) 括弧内の数字は単一の駅からなる駅セットの数を示す。

表2 駅セットのネットワーク形状

点	線状	面状
2	26(3)	4(3)

表2註) 括弧内の数字は分岐をもつものの数を示す。

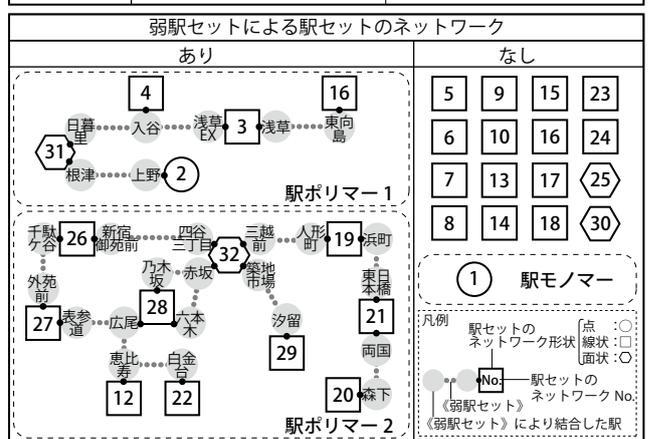


図4 駅ポリマーと駅モノマーの抽出

